

えびあん

立川と語ろう 立川に生きよう

August 2023

Écoutez Bien Vol.40 No.461

8

立川の元気がここにあります



立川を食べよう!

eat in Tachikawa

クレキヤトル

Clé4



野菜のテリーヌ
いろいろな野菜をラタトゥイユのアイスとごま油のパウダーで

一度は行ってみたい、そんなお店

カウンター 12 席の特別空間で、すべてをシェフにお任せする。

料理にタイトルがないのが Clé4 流。

コロナ下にも休まず営業、GREEN SPRINGS で 3 周年を迎えました。

連載の始まりはフレンチから。

今回ご紹介するのは、7月21日から8月20日までのディナーメニュー。

おいしい素材をさっぱりといただける、夏だからこそその逸品ぞろい。



甘鯛のうろこ焼き ジャガイモのビュレと 2種類のズッキーニの上に乗るのは発酵トマト



くまとあか牛のくりみ
脂肪が少なく、タンパク質が豊富でうま味が強い部位。
青森県産の黒ニンニクのソースで。



デザートも夏っぽく。
ココナッツムースやグレープフルーツで。

立川市緑町3-1 GREEN SPRINGS E3-2F

営業時間

ランチ 11:30~15:00 (LO 13:00)

ディナー

平日 19:00~22:00

(一斉スタート 18:45ドアオープン)

土日祝 18:00~22:00

(一斉スタート 17:45ドアオープン)

定休日 水曜日

詳細はClé4へ <https://cle4.tokyo>



町中華で60年

新奥多摩街道沿いのふじみ食堂

富士見町の変遷とともに過ごしてきた食堂
「食堂」という呼び名も懐かしい響きとなったが
人柄も味も変わらず賑わいを呼んでいる

——60年といえば、お店は還暦ですね。
芝田 何よりもね、親戚や周りの人たちに
支えられて今日があります。いろいろな時が
あったけれど、いつも助けられてきました。
——周りの皆さんも温かいのでしょうか、
淳さんのお人柄なのでしょうね。創業当時
この辺りはどんな風だったのでしょうか。



芝田淳さん

柴崎町在住。新奥多摩街道沿いにあるふじみ食堂の2代目店主。2023年6月、創業60年を迎えた。古くから立川の地に住む芝田家。父・故 芝田信一さんに代わって、叔父の時次さんと淳さん、そして淳さんの息子さん3人に、「芝田家獅子舞三代」と題して、えくてびあん2012年11月号の表紙を飾っていただいた。あれから11年、時次さんはコロナ下に鬼籍に入られ、息子さんはご結婚されてお子さんも。淳さんの長かった髪は短くなった。

芝田 この写真、ここに写っているのがうちの店です。こちら一帯はうちの畑と田んぼでした。当時はリヤカーが1台通るくらい道しかなかったんです。1964年の東京オリンピックの時に整備されて広げられました。——自転車ロードレースの団体コースだったんですね。レースをご覧になったんですか。
芝田 その日は平日だったんじゃないかな。俺は学校へ行っていたと思うよ。
——あら、残念。でもオリンピックのおかげで広い道路になりました。
芝田 道路で分断されたけど、うちはここで稲の田んぼと梨畑をやっていました。団地ができるっていうんで、まずお米ができなくなって、梨を作って売るといった時代でも



写真左端、中央辺り 道路沿いにあるのがふじみ食堂 (提供:立川印刷所)

なくなってきたし、団地を作るためのダンプやトラックがたくさん来ていたから、まずうちの母親、芝田テルが食べ物を他から仕入れて売ってお店をここに出したんです。——テルさんがお店の始まり。
芝田 初めはね、団子とか海苔巻きやお稲荷さん、菓子パンに牛乳とかね。テルさんは88歳まで店に座っていたんですよ。
——ああ、お見掛けしたことがあります!
芝田 常にここに座っていましたから。あの母がずっと切り盛りしてきたんです。その後、^{のいち}信一っていうんだけど、親父が勤めをやめて一緒にやるようになって、板前さんを入れてラーメン屋を始めたんです。団地もできたし、会社も増えてきて、福祉会館もできたしね、出前も多かったですよ。



2023年6月11日 創業60周年の記念イベントの様子



——まさに、そこからの町中華。
芝田 母は長くお店をやっていましたが、親父は案外早く亡くなっちゃいましたね。このビルができてからは一度も店に来られなかった。それで俺がここをやるようになってから、普通の中華からセットメニューを考案して、まあまあ、それが成功したかな。チキンライスにミニラーメンをつけたりね。増えたメニューといえば、スタミナ丼セットとかキムチ定食、麻婆豆腐定食とかかな。あとは昔からあるメニューです。
——昔からポークチャップとかあったんですか。お父さんの頃から。
芝田 あった、あった。
——60年やっている間にはいろいろあったと思いますが、つらかったことってどんなことでしょうか。
芝田 う〜ん。やっぱりねえ、父が亡くなったのが大変でした。大学を卒業してここに勤めて10年も経ってなかったからね。親父が急に入院を繰り返すようになって、どうしていいかわからなかった。これでいいのかなあって思うんですよ。
——なるほど。
芝田 だからね、父が亡くなってからも毎月命日の15日にはお墓参りに行っていたんですよ。今も行っていますけどね。お参りし

てお線香あげると、なんとなく気持ちが落ち着いて、ああ、これでいいのかなって自信を持つことができたんですよ。
——いいお話ですね。逆に嬉しかったことって、もちろん60年を迎えた今は嬉しいでしょうが、他に何かありますか。
芝田 やっぱりねえ、昔のお客さんが来てくれてね、「せがれさん? いや、親父さんは知っているんだけどね」とか言ってくれてね、食べて「ああ、変わらないねえ、昔のままの味だね、俺、これが好きなんだよ」って言ってくれたのが嬉しかったですよ。
——それは嬉しいですね。
芝田 俺はね、食べ歩きってあまりしないんです。勉強したらって言われることもあるけれど、自分の味、ふじみ食堂の味はそれはそれでいいと思っているんです。変えようと思っていないし、それがふじみ食堂の味なんですよ。
——そうですね。ふじみ食堂の味が変わっちゃったらつ

まらないですよ。ところで、60年を迎えました。これからはどうされるのですか。
芝田 お客さんから「長く続けてよ」って言われているから、日曜日以外に水曜日を定休日にさせてもらって、少し充電しながらね、もう少し頑張ろうかと思っています。
——そうですね。まだまだ若いんだから。
芝田 食洗機とか冷蔵庫とかいろいろここで新しくしたの。だからさ、新しくした備品と一緒に、がんばってやっていきますよ。
——そう、そう。みんな応援していますから。60周年イベントだって、雨の中あんなに集まったじゃないですか。
芝田 そうだね。ありがたいですよ。



夏の日差しに 輝くアート

アールブリュット立川の 「立飛ウォールペイントプロジェクト」

立川市役所の東側 多摩都市モノレール本社に向かう道
MFLP 立川立飛を囲む壁面は
輝くアートが並ぶ「ドリームロード」



立川は、歩けばアートに出会える町。
自由で、勢いのあるアートは
人の心を前向きにしてくれる。
アールブリュット立川プロジェクト。
まさに
「表現の可能性」
「人の果てしない想像の力」を
感じさせてくれる。
夏の日差しよりも強い
心の強さを与えてくれる。



えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
 今月は 羽衣町・錦町・柴崎町・立川市外のお店です。

- 羽衣町**
- 林歯科医院 522-5657
 - 新鮮野菜・惣菜 立川商店 522-3565
 - 本・事務用品 泰明堂 522-3353
 - 本と文具 ないとう 522-3677
 - 赤松タバコ店 524-7852
 - BB TAKAOKA 521-0236
 - まごころ銘茶 狭山園 527-0146
 - お好み焼ともんじゃ焼 こけし 526-1267
 - 立川熟成鶏かせ蕎麦たかや 595-6922

- 錦町**
- 鳥料理 くし秀 522-7692
 - 寿司勝 522-4874
 - イタリア料理 トラットリア ドン シェ 512-8735
 - 中国料理 五十番 522-7472
 - 一六珈琲店 527-1680
 - 手づくりみそ 材料専門店 北島こうじ店 524-3190
 - new gyoza 1059 餃子天国 526-2283
 - バー パル アラディ 523-3917
 - CAFE SOMMEILLER 527-1440
 - 康復中国気功整体院 529-1088
 - 日本クッキングスクール 522-3440
 - 元祖5本指ソックス専門店 LASANTE 540-1616
 - ホテル日航立川 東京 521-1111
 - 美容室 アリス 525-1100
 - FALCO hair 528-2389
 - N HAIR WORLD 523-5336
 - 創作料理 cafe & bar 厨~kuriya~ 595-7449
 - 立川駅泌尿器科皮膚科クリニック 548-8802
 - TTM (株) 524-5787
 - クラウンペーカリー立川店 526-2226
 - 王道流空手道 佐藤塾 548-7460
 - 三田花店本店 524-4187
 - いわさき痛みの整骨院 529-5123
 - にしま薬局 525-9212
 - たましん RISURU ホール 526-1311
 - 多摩信用金庫 錦町支店 528-0511
 - カレー店 CHOTA 525-1004
 - パン工房 グラーティア 512-8667
 - そば処 高尾亭 522-2710
 - Natural Food Restaurant シイなば 529-5921
 - Garden & Crafts café 0120-41-2877
 - 至誠学舎立川 527-7734
 - 至誠ホーム 527-0031
 - 至誠介護相談センター 527-0321

- 柴崎町**
- 諏訪神社 522-2968
 - パスタビーノ はしや 521-3386
 - 高島ビル 526-0111
 - Hair Room MOON ZETTON 523-0961
 - 南武堂剣道具店 527-0197
 - ビジネスホテル 小沢屋 523-0388
 - おしゃべりカフェ トーク・スペース 527-1636
 - ESBI 立川南口店 526-2947
 - (株) 一心堂 527-3777
 - すかの歯科 540-2675
 - あすなろクリニック 529-2756
 - ピストロこぼ 525-9929
 - 入船茶屋 524-6266
 - 串揚割烹 トントン 524-4521

- 立川市外**
- 昭島市
 - ECO'S 昭島店 546-3710
 - 武蔵村山市
 - 中国料理 菜 561-7233
 - 国分寺市
 - パンの店 fermata 534-3334

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！: 529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
 スマホアプリ「スカパー！番組表」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩: 11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

TOPICS OF TACHIKAWA

CANのオペラレクチャーコンサート

CANは、「文化・芸術いきいきネットワーク」の通称です。高齢者の方々に明るく楽しい日々を送っていただきたいという思いで、高齢者施設や地域にいるいろいろなアクティビティを届けているグループです。CAN 主催の上質なアクティビティは高齢者の枠を越え、どなたもが楽しめて勉強になる事業へと発展。6月24日には立飛HDの支援を得て、女性センターアイムの1階ホールでコンサートを開催しました。国立音楽大学招聘教授の中村敬一先生をお迎えし、オペラについてのお話を交えてのコンサート。文化や芸術は、豊かに生きるための大事な要素ですね。



中村敬一先生



【妖精ヴィッリ】上演中 左から福井暖さん、大槻聡之介さん、吉田静香さん、ピアノは吉田彩さん

シネマ2でミニジャズコンサート



前号でお伝えした田村美日さんと大森良子さんの展示会。そこで大森良子さんのご主人でプロのジャズサクソフ奏者の大森明さんが、ベースとギターを交えてミニコンサートを開催しました。しっとり大人のジャズという感じで、とても素敵なコンサート。ガラス越しに道行く人も視線を向ける。立川ならではの風景です。それにしても、シネマ2、こんな使い方もあったんですね。



6月24日の様子

今年もテニスフェスタ

6月25日、多摩都市モノレール直結のドーム立川立飛で、今回も元プロテニスプレーヤーの杉山愛さんによるテニスフェスタが行われました。日本代表監督に就任した杉山さんが来て、直接テニスを教えてくれる…、贅沢なイベントです。ご自身も2人のお子さんを育てていらっしゃるだけに、子どもたちに指導する時も常に笑顔。優しい言葉遣いと明るい表情で、誰もがテニスを好きになる、そんなテニスフェスタでした。今回はトークショー付きで、ご自身のテニスとの出会いなどお話をされていました。



トークショーで



指導の様子



「ロビンの空クリニック」竣工しました

高松町、立飛ブルワリーの北側に『ロビンの空クリニック』ができました。診療科は産婦人科と小児科。診療開始は8月の予定です。6月30日の竣工式は雨の中。諏訪社社の神職方による神事が執り行われて、建物の中を拝見。全体に「広い」という印象でした。入院される方のための16部屋は広々。ご家族も一緒に泊まれるそうです。分室間の間接照明が淡くいろいろな色に変化するの、その理由を尋ねると、「暗い方がいいという方や、明るい方がいいという方、それぞれ好みがあるので」とのこと。1人ひとりを大切にしてくれる、そんなクリニックのようでした。



外観



竣工式神事の様子

立川伝統の『科学のひろば』

伝統というにはまだ少し若いとお思いの方、こうした活動が定着するというのは本当に素晴らしいことです。星座の話や宇宙エレベーターロボットのプログラミング、水の不思議を解き明かしたり、自分でラジオを作ったり。かつてここで学んだ子が講師になっていたりと、現役を退いた先生が自分の専門分野を教えていたり。これこそ学ぶ現場のあるべき姿ではないかなと思います。主催はNPO法人立川教育振興会、立川市教育委員会が後援し、理解ある諸団体が協力する夏休みのイベントです。申込は7月2日から始まっています。遠くへ行かなくても有意義な1日が過ごせます。詳細は tachikawakagaku@gmail.com にお問い合わせください。

表紙

小さい滝 (富士見緑地)

2020年8月1日に撮影しました。コロナ真っ只中で取材もままならない日々。深い緑に、水量が多くちよつとした滝のように見えた湧水。あの日の富士見緑地は癒しを与えてくれました。先日行ってみると、水はチョコチョコ。子どもたちが水たまりのようなところでザリガニを釣っていました。自然もいろいろな日があります。湧水が枯れたようになる日もあれば、滝のように流れる日もある。こんな小さな湧水でも大きな変化があるのですから、一級河川ともなればなおさら。降り続く雨から、まずは命を守る行いを。どこに起きてもおかしくない自然災害を、小さな湧水に教えられます。

かたこと

◆7月になって立川は暑い毎日ですが、九州方面に目をやれば雨、雨、雨。それも豪雨。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます◆「線状降水帯」という言葉を、いつから目にし、耳にするようになったでしょう。2014年からこうした現象が目されるようになったのだそうですが、気象庁では2021年から線状降水帯についての予報を発表しています。海水温が上がっていること、温暖化の影響は否めないと言われていました。えくてびあんで、初めて温暖化について記したのは2009年、国立極地研究所の藤井行所長(当時)のインタビュー記事でした。先生は温暖化による異常気象も話題にしていっしょにしました。あれから14年、9月号より再び極地研の連載が始まります。南極・北極、両極の話から、これからの地球が見えてきます◆「えくてびあんに食べ物がないなんて」と言われて久しいですが、今号から復活します「おいしい味」◆アールブリュットのアーティストたちは自由奔放。行って観てくるとわかります。勇気とか元気とか、前向きな気持ちになれる不思議なアート。1枚1枚をじっくり観ていただくため、webに掲載しました。QRコードからアクセスしてみてください。8月号のえくてびあんをもっと奥深く読めてきます◆暑い暑いと言いつつも、時間は秋へと向かっています。暑くてもやれる限りをやってみる。頑張ります。えくてびあんスタッフ一同



えくてびあん ©

8月号 第40巻 通巻461号

令和5年8月1日発行
 発行 有限会社えくてびあん
 〒190-0023
 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
 TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
 E-mail message@tamatebakonet.jp
 URL https://www.tamatebakonet.jp
 発行人 黒須 環
 企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
 デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
 印刷 ダイオーミウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

あの頃の立川

創刊から40年——③

アイアンシェフ



えくてびあんの写真から

かつて富士見町にあったリーセントパークホテル。1986年、このホテルの総料理長として迎えられたのが脇屋友詞さん。後の『料理の鉄人』であり『アイアンシェフ』。立川で腕を振っている時も、常に新しいことに挑戦し、「中国料理国際コンクール」で日本チームを優勝に導いていました。現在は赤坂を中心にご自身のお店を持って、YouTubeなどで惜しげもなく料理のコツを披露しています。これからの暑い時期、瓜科の食べ物が体にいいと教えてくれる「キュウリの生姜醬和え」。シャキシャキパリパリ、箸が止まらない。えくてびあんの1993年2月号には「中国料理の新旗手としてどこまで伸びてゆけるか、これからの活躍には計りしれないものがある」と書かれています。脇屋さんもすごいけれど、その腕を見抜いていたえくてびあんスタッフもすごかった。